

# 「絆をつむぐ」学校間連携・地域連携の推進

～児童生徒の将来の社会的自立をめざして～

【周南市 岐陽中学校区】

## 地域の概要

岐陽中学校区は、周南市の中央部に位置し、J R徳山駅を中心として、市役所をはじめとする公共施設や文化施設、商店街、事業所などが多くあり、産業の盛んな地域です。徳山、岐山、遠石の三つの小学校区には、それぞれ公民館があり、地域と学校が手を携えて、学校づくり・地域づくりを推進する環境が整備されています。

人口	22,430人	
世帯数	10,912世帯	
対象校及び児童生徒数	岐陽中学校	647人
	徳山小学校	657人
	岐山小学校	448人
	遠石小学校	412人

※ 徳山小学校は児童の約9割が、遠石小学校は約5割が岐陽中学校に入学

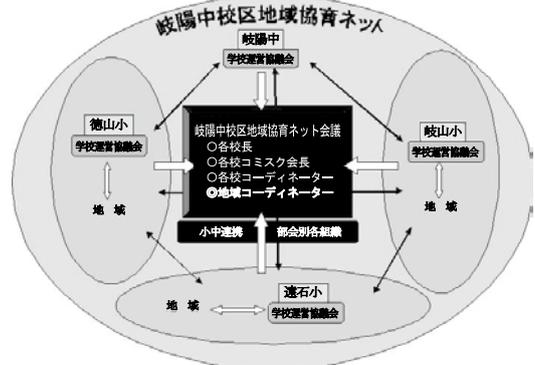
## 組織の内容

周南市では、平成24年度から全小・中学校にコミュニティ・スクール制度が導入されており、昨年度から、本校区すべての小・中学校にコーディネーターを配置し、学校支援の中心的な立場を担っていただいています。

また、各校の教頭が学校運営協議会委員として、コミュニティ・スクール間の相互連携の強化を図っています。

さらに、各校の連携、地域との連携を進めていくために4校の校長、学校運営協議会会長、各校コーディネーター、

地域コーディネーターで構成された「岐陽中校区地域協育ネット会議」が年に3回実施されています。地域コーディネーターが各校のコーディネーターの連絡調整に当たり、これらのメンバーで、岐陽中学校区の情報交換や地域での具体的な取組を検討しながら事業を展開しています。



## 特色・重点的な取組

岐陽中学校区では、平成24～25年度の2年間、国立教育政策研究所の「魅力ある学校づくり調査研究事業」の研究を進めてきた経緯があり、授業改善や小中連携、地域交流などに関する研究・実践を行ってきました。その研究成果を基盤とし、小中連携・地域連携の更なる充実を図っています。

また、全教職員が参加する小中合同の6部会のプロジェクトチームによる合同研修会が年に2回行われ、地域の方々も参加する模擬授業や、道徳教育の各校実践事例発表、講演会など年々充実した内容になっています。

さらに、小中で一貫した生活作法や学習規律を推進するため、小中連携通信「絆をつむぐ」を月に1回発行し、校区の小・中学校の取組を地域に発信しています。



小中連携通信「絆をつむぐ」

## 主な活動の紹介

### 【岐陽中校区一斉あいさつ運動】



校区一斉あいさつ運動は、年に3回「地域のおじさん、おばさん運動」の日に合わせて4校が合同で行います。この日は、各学校の正門や人通りの多い交差点などに児童生徒、教員、地域の方や保護者の方が立ち、お互いが元気のよいあいさつを交わし、気持ちよい一日のスタートを切りました。



### 【各学校の取組】

#### 岐山小学校

災害時に備えて、保護者への児童引き渡し訓練を行いました。

学校運営協議会委員や見守り隊の方にも協力いただき、スムーズな引渡しをすることができました。



#### 遠石小学校

2年生が生活科で育て、収穫したサツマイモを地域の方に焼いてもらい、一緒に食べながら収穫を祝いました。

#### 徳山小学校

徳山小では、数々の地域連携の取組の中でも、大人の学びや地域参加型授業を特色の一つに位置付けています。

なかでも1年生は、お気に入りの本の読み聞かせを地域の方に行っています。



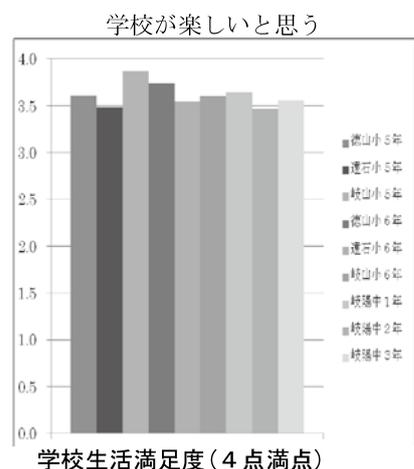
#### 岐陽中学校

岐陽中では四つの公民館からのボランティア要請を受けて地域の行事に多くの生徒たちが参加、支援しています。

## 成果と課題

校区では学期に1回、小学5・6年生、中学1～3年生を対象に「授業・生活のふりかえりアンケート」を実施しており、学校生活や授業への取組について調査しています。その結果、学校生活満足度についてはどの学校も比較的高い数値を示しました。しかしながら、地域連携の部分に関してはまだまだ改善の余地が見られ、今後は児童生徒への地域交流活動に対する価値付けが必要であると考えています。

また、「一斉あいさつ運動」実施に向けて、地域への効果的な周知方法を模索し改善実施したことで、この取組が地域に浸透し、まさに「地域ぐるみの取組」として、各校での地域連携の気運が高まりつつあります。



## 今後の取組

本校区における「地域協育ネット」の今後の取組としては、一斉あいさつ運動の更なる充実を図るとともに、地域連携に関わる具体的な活動の実施に向けて熟議を重ねていくことや、複数の中学校を進路先にもつ小学校のために、中中連携を進めていくことがあげられます。さらに、各校のコミュニティ・スクール組織で協議を重ねながら、岐陽中校区の子どもたちの社会的自立に向けて、15年間の育ちや学びを地域ぐるみで支援する取組を充実させていきたいと考えています。